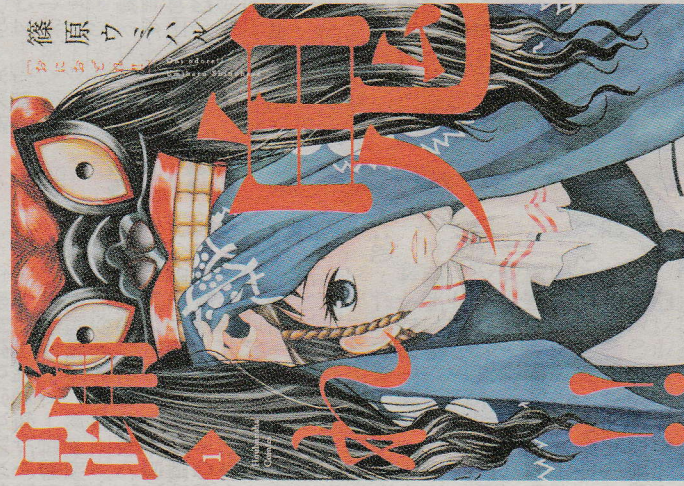


鬼剣舞や鹿踊、漫画に



篠原ウミハル
「おに踊れ!!」

本県の郷土芸能を題材にした漫画「鬼踊れ!!」の
単行本1巻の表紙(芳文社提供)

鬼剣舞や鹿踊など本県の民俗芸能を主軸に描く漫画「鬼踊れ!!」が、週刊漫画TIMES(芳文社、東京都)で連載されている。作者の篠原ウミハルさんは、北上市の北上・みちのく芸能まつりで鑑賞した芸能の数々に感激し、執筆につながった。単行本の第1巻も刊行され、物語を通してその魅力を全国に紹介している。

作品の舞台は都内の私立高校。新任教諭の泉宗介は民俗芸能部の顧問となり、芸能に込められた心や伝統を学びながら、岩手県出身の女子生徒小田島細ら部員と共に活動していくという粗筋。連載は2017年7月にスタート。運動着の上に着を締める練習時の姿

や細かな舞の所作など、なじみの深い光景も丁寧に描写されている。

篠原さんは京都府出身で、代表作は図書館の主。友人らとの旅行で10年ほど前に花巻市を訪れた際、鑑賞を勧められていた鹿踊を見られなかったため後に本県を再訪。回まつりでは

週刊雑誌に不定期連載

「鹿踊や鬼剣舞、七頭舞などは今まで見たことば芸能よりの激しく力強く目が離せない」と魅せられた。

以来訪問を重ね、「こんないいもの知らないのもったいない。初めて見た時の感動を少しでも伝えたい」と決意。執筆に当たった取材では、北上市の岩崎鬼剣舞保存会や鬼の館、二子流東京鬼剣舞などから協力を得た。

今後のストーリーでは鬼剣舞を中心に、鹿踊やその他の民俗芸能も登場する予定。篠原さんは「縁もゆかりもない自分が岩手の郷土芸能について語るたびおこ

本県の郷土芸能魅力紹介

がましいと思うこともあるが、岩手の方々の感想を拜見するにつけ、懐の広さと温かさに触れて頭張れる」と応援に感謝。「観光、取材のたびに会う人が優しく接してくれる。今年もできるだけ訪れたい」としている。

「鬼踊れ!!」は不定期連載で、同雑誌は毎週金曜発売。単行本1巻は桜抜き590円。問い合わせは同社1103(33815)1521へ。